2−8 自分の考えをまとめる

自己理解

1. 題材設定の理由

２年生の進路学習では「自己理解」「進路情報」「職業観」について学習を進めてきた。これらを一つ一つ取り上げて意識づくりをしていくことも大切であるが、それらを総合した形でまとめて考えていくことが、３年を迎えるこの時期に必要であると考えている。

そこで、２学年で学習したことについて振り返り、そこから自分としての現時点での考えをまとめさせたい。２学期までの生活で仲間のよい点や特性をたくさんとらえているだろう。それを交流し合って、自己分析とともに相互分析をさせていきたい。その分析の結果を自分の将来希望する職業への適性という面から考えさせたい。それをもとに、自分の努力点などについてまとめさせたい。また、この学習を生かして**２－９**の学習内容である、進路計画を立てていけるようにしたいと考えている。

2. 指導のねらい

今までに学習した自分の特性や興味・関心などについてまとめ、自分の進路に対する考えをはっきりさせることとともに、今後の努力点について考えることができる。

3. 指導計画（全１時間）

事 前	・２年生で学習したことで、『生きる』に記されていないところをしっかりやっておく。
本 時	・自分の進路に対する考えをまとめる。
事 後	・**２－９**に役立てる。

＜説話例＞

自分を見つめることは１年にもやってきたことだし、３年にも行います。ちょうど１年前、１年生の学級でも同じように仲間から自分についての特性を聞きました。その時も「自分で思っているのと、他の人から見るのではずいぶん違うんだな」と感じたことでしょう。その時と比べて今回はどうだったでしょうか？　自分を客観的に見つめられたでしょうか？　この１年間一緒に活動してきた仲間だからこそいろいろな特性をよくとらえているし、親身になって意見を言ってくれたでしょう。自分の興味・関心と自分の特性、進路のための条件などを今日は総合して見てきましたが、より自分について考えがまとまってきたでしょうか？　３年になると具体的に進路を選択していくことになります。こうして自分を冷静に、客観的にとらえていく目を養っていきましょう。これから重要になるのは自分を正しくとらえた上での進路計画です。今日まとめたことをもとにして、次の時間は進路計画を立てます。そしてその計画を考えた時、今から何を努力していくかを書きます。これからも自分をしっかり見つめながら進路を考えていきましょう。

	活動のねらい	活 動 の 内 容	指導・援助の留意点	資料等
はじめの活動	・今までの学習内容を振り返ることができる。	◎２年になって今まで進路についてどんなことを学習してきたかを振り返る。 ・自分について知ること ・高校の種類と特徴 ・働くことの意義や生きがい ・職業に就くために必要な資格	・２年の進路学習で学んできた内容について、どんなことがあったか発表させる。 ・それぞれが別のことではなくトータルして自分の進路を考えていく要素となる、という意識に立てるように留意する。	
	課題：２年での進路学習を振り返り、自分の考えをまとめてみよう。			
中心的な活動	・仲間の意見を参考にして自分の特性をまとめるとともに、今までの学習内容を総合して、自分の進路に対する考えをまとめることができる。	◎P.38[1](1)「自分でとらえた特性」を書く。 ◎班内で順に「自分でとらえた特性」を発表し、それについて班の仲間からの意見を聞く。班内で回して仲間に書いてもらう方法もある。 ・仲間の意見をP.38[1](2)「仲間からみた自分の特性」の欄に書く。 ・わからないところを聞き返すなどして、自分の姿をはっきりさせていく。	・自分を振り返らせ、「自分でとらえた特性」を書かせる。 ・班の机列にして班長中心で進めさせる。 ・なるべく自由に意見が交流していけるように留意する。	・P.38[1]
		◎仲間の意見を聞いてどのように思ったかをP.38[2]に記入する。		・P.38[2]
		◎「進路に対する自分の考え」を記入する。 将来希望する職業；現時点での考えを書く。 〔興味・関心〕自分はどんな方面に興味関心があるのか、職業と結びつけて書く。 〔特技〕自分の特技について書く。 〔性格・生活面の適性、学習・体力面の適性〕希望する職業に就く上で、自分の性格などをみた時にどんな点が適しているか、また努力の必要があるかを書く。 〔保護者の方の考え〕保護者の方が進路についてどのように考えておられるかを書く。	・それぞれの項目について、何を書くのか教師が説明してから書かせる。 ・特に「適性」については、次のように話すと分かりやすい。 **２－２**や**２－５**で、職業の内容やそのために必要な資格について学習しました。自分の性格や学習の状態は「こんな点が適している」「ここは努力したほうがいい」のように分析できるでしょう。それを適性の欄に書きましょう。	・P.39[3]
まとめの活動	・自分の考えをまとめ、発表することができる。	◎自分がまとめたことを班内で交流する。 ・班内で順に自分のまとめたものを発表していく。 ・**１－９**で自分がまとめたことと比較する。	・机間指導をしながら、生徒の発表のよい点を認めていく。 ・進路の計画を次時に行うことを話す。 ・１年、３年でも行うが、繰り返し指導していくことが大切である。	